

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	721
施策名	国際交流・地域連携の推進
関係課	広報ブランド推進課、政策調整課、市民生活課、学校教育課

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

指標	単位	実績値				見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込み	R6年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
		R2	R3	R4	R5				
a 外国人と交流している市民の割合	%	10.2	8.2	10.7	11.1	9.9	13.5	13.5	③新たな取り組み等により目標達成の可能性あり 市内外国人登録者数の増加に伴う外国人と地域住民の共生の機運が高まりつつある。 国際化推進戦略会議が令和6年度に設置され、本市の国際化に向けた取組が推進される。
b 連携している自治体、企業数	団体	126	—	143	160	調査中	165	130	①既に目標値達成済み 包括連携協定締結の要綱を制定し、本市との連携に積極的な企業との連携が促進される。
c 連携している大学・短大数	団体	5	—	7	8	8	9	7	①既に目標値達成済み 講師派遣を目的とした連携が多い。ただし、連携数の増について頭打ち状態となっている。
d									

(2) 構成する事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
2	高校生プロジェクト推進事業	佐野市に住み続けたい若年層割合	%	57.6	63.2	64.8	304	314	271

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
7	国際戦略推進事業	外国人と交流する市民の割合	%	10.7	11.1	9.9	0	0	115
		策定した戦略数	本			0			

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
1	国際交流協会支援事業	外国人と交流する市民の割合	%	10.7	11.1	9.9	5,632	6,314	8,742
5	両毛広域都市圏総合整備推進協議会 参画事業	圏域内の人口（各年10.1現在）	人	807,917	802,036	796,930	166	166	166
6	両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会 参画事業	域内の路線の乗り降り人員数	人	22,572,440	23,881,639	18,179,085	80	80	80

(3) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

本市が支援する国際交流協会が行う事業や活動が活性化している。特に、外国人登録者数の増加に伴う日本語教室の申込者数が増え、講師が不足する状況となっている。 大学等との連携について、現在8大学と連携し、本市の地域課題解決につながる提案が得られている。 (宇都宮大学、東京大学、東京農工大学、足利大学、白鶲大学、立教大学、実践女子大学、佐野日本大学短期大学)	姉妹都市として提携しているアメリカ合衆国ペンシルベニア州のランカスター市との中学生交流事業は、新型コロナウイルス感染症拡大以降、行われていない。姉妹都市としての提携は今後も継続し、中学生交流以外の分野での交流について検討する。

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）	①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）		
	②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）		
①クリケットを通じた大使館交流や経済交流について、国際感覚を高める機会と捉え、サポーター活動や通訳・翻訳ボランティア活動などにより外国人との相互交流を推進し、国際交流に貢献できる取組を実施する。	①クリケットの国際大会時に国際交流協会から通訳を派遣するなど、日本クリケット協会との連携を深めるとともに、国際交流の拡大につながった。	②国際交流フェスティバルをはじめとした国際交流協会主催事業への支援を行った。また、毎月行う協会の企画委員会に担当職員が出席し、協会との情報共有を図っている。	②国際交流フェスティバルをはじめとした国際交流協会主催事業への支援を行った。また、毎月行う協会の企画委員会に担当職員が出席し、協会との情報共有を図っている。
・国際交流活動の活性化を図るため、国際交流協会との連携を強化し、協会が実施する国際交流フェスティバルや各種講座などの事業を支援する。	・外国人が安心して生活できる環境を整備するため、市政情報等を多言語で発信するとともに、外国人キーパーソンネットワークの構築に向けた取組を支援する。	・共通の課題解決を図るため、自治体及び企業、大学等の新たな提携先との包括連携協定の締結に向けて、各部署と調整し検討を進める。	・外国人が安心して生活できる取組として、市のホームページの多言語化や災害時の外国人対応に関する国際交流協会との情報交換を行った。
・地域課題の解決や地域の活性化を図るため、高校生プロジェクト等を通じて若者の視点を取り入れた共同事業を推進する。	・包括連携協定締結について、関係課と連携し1社と締結した。また、企業や団体と効果的な連携が持続できる体制を整えるため、包括連携協定の締結に関する要綱を策定した。	・高校生プロジェクトにおいて、高校生が自主的に3グループでの活動を実践している。	・高校生プロジェクトにおいて、高校生が自主的に3グループでの活動を実践している。

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

①令和6年度行政経営方針

①高校・大学等との実践的活動の充実を図る。	①高校・大学等が行う調査・研究などの活動の場として本市を活用してもらえるよう働きかけ、連携・協働の取組につなげる。
②国際交流活動の活性化	②国際交流協会の活動がさらに活性化するようサポートを行う。